

天白ガイドボランティア 歴遊会 会報誌

第18号

令和6年度を振り返って(会長挨拶)

小島隆広

今年度も盛り沢山な一年でした。天白歴史探訪マップ「元八事コース」の編集作業が大詰めを迎え、真夏の酷暑の中、担当者は地元の方々の聞き取り調査に向かいました。この会報誌とほぼ同時に完成し、皆様に配布できる予定です。来年度は「荒木集成館・島田緑地・天白公園コース」の編集を行います。天白区の身近な散策路をご紹介します。御期待下さい。

中でも特に私の印象に残った行事が二つあります。6月9日に実施された、天白生涯学習センター講座「親子で体感！天白区の歴史」(文化財保護課共催)と9月26日に行われた鯉城学園史跡散策クラブ様での講演会です。

前者は植田地区の植田八幡社古墳を中心にガイドしました。小学生の子どもさんと保護者の方をご案内しましたが、いつもは大人の方を対象としてガイドを行っているので、今回のための特別な資料を用意しました。

植田城跡では、武士とは何かや、平安時代から戦国時代までの一般的な武士の館城のイメージ図などをお見せして、説明しました。

植田八幡社古墳では神と仏の違いについても説明しました。日本の神道における「神」とは、人間の力を超越した優れたもの、という本居宣長の説を取り入れてお話ししました。「仏」とは、真実真理を悟り、その智慧でもって人々を救う存在、と説明しました。学校の歴史の教科書からは逸れた内容でしたが、地域の史跡を紹介するにあたり、神社仏閣とは何か？とすることまで知って



頂かなくてはと思い、こうした説明を行いました。

後者では、八事地区の歴史を大まかに講演しました。講演会の講師として演壇に立つののはこれが二回目の経験でした。地層や海面上昇の話から、東山古窯群、莊園制、尾張藩政、近代の町村合併のことなど、駆け足で説明しました。

どちらも拙いガイドでしたが、御好評を頂いて嬉しく思っております。